

【ルーム 1】

発表時間：7分 質疑応答：5分

9:00~9:50

- 横断性脊髄炎により対麻痺・感覚障害を呈した症例

京都きづ川病院 石原 知弥

- THA 施行後、運動学習を取り入れ、歩容が改善した症例

洛西シミズ病院 山副 未恵

- 右変形性膝関節症の術後、歩行持久力の改善を目指し、

右初期接地の膝関節伸展制限に着目した症例

丹後中央病院 坂根 利明

- 間質性肺炎を発症した患者に対し、自宅復帰を目指し入院前 ADL 再獲得を図った症例

京都民医連中央病院 迫田 大喜

9:55~10:45

- 人工膝関節全置換術後の可動域改善に難渋した症例

学研都市病院 重谷 圭祐

- 脊髄梗塞を呈された不全対麻痺患者に対し、

安全に在宅生活を送れるように退院支援を行った症例

京都大原記念病院 古本 剣

- 左大腿骨転子部骨折術後の一症例

京都武田病院 松田 一哉

- 低活動者に対し早期より KAFO を作製し ADL 向上を認めた一例

岡本記念病院 今井 ルミ

10:50~11:40

- 左 THA 術後の歩行に着目した症例

洛西シミズ病院 中澤 昂大

- 視野遮断下での歩行訓練により介助量軽減がみられた心原性脳塞栓症の一例

京都きづ川病院 高山 陸

- 長下肢装具を用いた歩行練習により歩容の改善を認めた脳卒中片麻痺症例

京都民医連中央病院 吉田 萌

- 頸椎症性脊髄症により歩行障害を呈した症例

京都近衛リハ 林 遼太郎

13:00~13:50

- アテローム血栓性脳梗塞を発症し下肢脱力感と廃用性筋萎縮を呈した一例
京都きづ川病院 田中 千比呂
- 頚椎症性脊髄症を受傷後、歩行が困難となった症例
丹後中央病院 小北 佳威
- 左大腿骨転子部骨折術後の術側立脚中期に破行を認めた症例
京都武田病院 辰野 創太
- 脳画像解釈を踏まえ、歩行再建に取り組んだ一症例
岡本記念病院 保田 卓也

13:55~14:45

- 左人工股関節全置換術後症例に対する歩容修正アプローチ
京都武田病院 市山 佳奈愛
- 左人工膝関節置換術(TKA)施行後、膝関節伸展獲得に難渋した症例
洛西シミズ病院 和泉 治世
- Pusher 現象を呈し、トイレ移乗動作獲得を目指した症例
京都博愛会病院 尾崎 大地
- 人工膝関節全置換術後の立ち上がり動作学徳について
学研都市病院 川井 泰輝

14:50~15:40

- 足関節背屈筋力低下を呈した大腿骨頸部骨折術後症例に対して早期回復を目指して
京都きづ川病院 甲藤 伶奈
- 認知機能低下を有する患者に対する運動療法の介入
京都大原記念病院 池亀 優里
- 右大腿骨転子部骨折術後独歩獲得を目指し、
小殿筋・深層外旋六筋の作用に着目してアプローチを行った症例
丹後中央病院 袖長 拓馬
- 左橋梗塞後、運動麻痺増悪や状態変動がみられた症例に対する理学療法の経験
京都医療センター 山上 晴暉

15:45~16:21

- 右大腿骨転子下骨折を受傷し、杖歩行獲得を目指した症例
学研都市病院 高崎 瞬
- TKA 後、杖歩行を獲得し、歩行能力が向上した一症例
京都大原記念病院 中川 駿
- ラクナ梗塞を発症した症例
京都きづ川病院 吉永 くるみ

【ルーム 2】

発表時間：7分 質疑応答：5分

9:00~9:50

- ANCA 関連血管炎により多発性末梢神経障害を呈した一症例

学研都市病院 作田 佳乃子

- 立位バランスの向上により杖歩行自立となった症例

京都大原記念病院 野崎 達也

- 多職種連携による服薬自己管理の獲得が在宅復帰に繋がった症例

京都博愛会病院 水田 千尋

- 左視床出血による重度感覚障害に対し超下肢装具を用いて感覚入力を促した症例

京都医療センター 高田 芽依

9:55~10:45

- 転倒による受傷から BHA 施行後、再転倒予防に向け介入を行った症例

洛西シミズ病院 安井 実紅

- 大胸筋のホールドリラックスにより結帯動作が改善した肩関節周囲炎の一症例

田村クリニック 橋本 健太郎

- 左片麻痺を呈した症例が、実用的な歩行自立を獲得した理学療法アプローチ

京都きづ川病院 酒井 衿子

- 脳梗塞発症約5ヶ月の患者に対して、体幹にアプローチし歩行能力が向上した一例

亀岡シミズ病院 澤田 晴香

10:50~11:40

- 徐々に症状悪化し、歩行が不安定になった腰部脊柱管狭窄症術後の症例

丹後中央病院 白岩 義貴

- 踏み台を使用したステップ練習が歩容改善に繋がった左人工股関節置換術後の症例

京都武田病院 小酒井 詩帆

- 視覚的フィードバックを用いて立位姿勢制御に取り組んだ動静脈奇形術後の症例

京都協立病院 東 達朗

- 大腿骨頸部骨折術後に膝痛が増悪し、人工膝関節全置換術を施行した

高齢女性の杖歩行獲得に至る過程

学研都市病院 坂部 順哉

13:00~13:50

- 期間ごとにアプローチ内容変化したことで、破行消失に至った症例

洛西シミズ病院 亀安 一成

- 右脛骨腓骨粉碎骨折を呈し、固定・運動制限による関節不動が

足関節背屈制限をもたらした症例

学研都市病院 中西 大樹

- 自覚的脚長差のある患者に対し、インソールを挿入し歩容改善を目指した症例

京都民医連中央病院 一居 美紗稀

- 入院後の骨折受傷による安静にて歩行獲得に難渋した事例

吉祥院病院 仁科 郁実

13:55~14:45

座長：〇〇病院 〇〇 〇

- 腰椎椎間板ヘルニアによる不良姿勢に対して、変化が見られた症例

京都きづ川病院 岡田 真朋

- 転倒を繰り返し自宅生活の継続が困難となった症例について

京都大原記念病院 村上 真弓

- 非対称的な立ち上がり動作に対し着目した一症例

丹後中央病院 小巻 恵美

- 両側下垂足、感覚障害を呈し転倒リスクのある症例

河端病院 三宅 一輝

14:50~15:40

- 股関節機能に着目して Knee Brace を使用し歩行の安定化を認めた症例

洛西シミズ病院 神内 花甫

- 梨状筋のスパズムの治療後に靴下の着脱動作時の鼠径部痛が改善した

全人工股関節置換術術後の一例

田村クリニック 林 拓克

- 距骨下関節に介入し歩容が改善した腰椎椎間板ヘルニア術後症例

学研都市病院 砂山 泉

- 心原性脳塞栓症により左片麻痺を呈した症例について

京都近衛リハビリ 森永 優樹